



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 名

上場会社名 ポパール興業株式会社
コード番号 4247 URL <http://www.poval.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 孝敏

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当取締役 (氏名) 坂倉 満

TEL 052-419-1827

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,212	12.0	78	48.4	84	91.1	56	65.0
27年3月期第2四半期	1,082	—	53	—	44	—	34	—

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 △34百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 70百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	43.21	—
27年3月期第2四半期	29.25	—

当社は、平成26年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	5,057	4,238	83.5	3,207.01
27年3月期	5,148	4,335	84.0	3,284.07

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 4,224百万円 27年3月期 4,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,340	2.6	154	△26.2	180	△29.1	140	△29.3	106.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	1,317,400 株	27年3月期	1,317,400 株
28年3月期2Q	— 株	27年3月期	— 株
28年3月期2Q	1,317,400 株	27年3月期2Q	1,179,285 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策を背景として緩やかな回復基調で推移しました。一方で、海外景気の下振れリスクの影響が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは「接着・樹脂加工を基盤とし、拠点相互のネットワークを最大限活かした成長事業、新規事業とグローバル展開」を基本方針として、「ソリューションビジネスの展開」「グローバル展開の推進」「成長事業・新規事業推進」を目標に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、ウレタンタイミングベルトの販売拡大が順調に推移したことに加え、鉄鋼・自動車向けベルト関連の販売が堅調に推移しました。その他、機械向け発泡ウレタンの好調により、売上が増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,212百万円（前年同四半期比12.0%増）、営業利益は78百万円（前年同四半期比48.4%増）、経常利益は84百万円（前年同四半期比91.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56百万円（前年同四半期比65.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて91百万円減少し、5,057百万円となりました。このうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べて182百万円減少し、1,864百万円となりました。これは主に、現金及び預金が119百万円減少したことによるものであります。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べて90百万円増加し、3,193百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が27百万円減少したものの、投資有価証券が126百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて6百万円増加し、818百万円となりました。このうち、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べて16百万円増加し、537百万円となりました。これは主に、短期借入金が11百万円、未払法人税等が30百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が60百万円増加したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べて9百万円減少し、281百万円となりました。これは、主に長期借入金が3百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて97百万円減少し、4,238百万円となりました。これは主に、会計方針の変更により、資本剰余金が46百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて23百万円減少し、435百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ115百万円増加し、205百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が94百万円、減価償却費が60百万円計上されたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ193百万円減少し、169百万円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が299百万円計上されたことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、54百万円（前年同四半期は246百万円の収入）となりました。これは主に、配当金の支払額が39百万円計上されたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、平成27年10月20日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、のれん23,605千円及び資本剰余金46,194千円が減少するとともに、利益剰余金が22,589千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ663千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	555,200	435,383
受取手形及び売掛金	749,993	723,080
商品及び製品	75,530	50,063
仕掛品	365,712	364,837
原材料及び貯蔵品	197,432	198,581
その他	103,144	92,656
貸倒引当金	△498	△415
流動資産合計	2,046,514	1,864,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,443,884	1,436,511
減価償却累計額	△863,164	△883,160
建物及び構築物(純額)	580,719	553,350
機械装置及び運搬具	1,151,953	1,217,731
減価償却累計額	△883,128	△914,185
機械装置及び運搬具(純額)	268,825	303,546
土地	1,284,769	1,265,712
建設仮勘定	7,867	681
その他	172,209	173,799
減価償却累計額	△160,958	△162,043
その他(純額)	11,250	11,755
有形固定資産合計	2,153,433	2,135,046
無形固定資産		
のれん	23,605	—
その他	3,467	3,190
無形固定資産合計	27,073	3,190
投資その他の資産		
投資有価証券	896,036	1,022,946
その他	26,789	32,999
貸倒引当金	△1,169	△1,144
投資その他の資産合計	921,656	1,054,800
固定資産合計	3,102,162	3,193,037
資産合計	5,148,677	5,057,224

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	241,858	301,909
短期借入金	31,463	20,000
未払法人税等	59,294	29,212
賞与引当金	65,938	59,413
その他	122,481	126,502
流動負債合計	521,035	537,038
固定負債		
長期借入金	15,109	11,257
役員退職慰労引当金	168,120	173,931
退職給付に係る負債	87,893	89,405
その他	20,527	7,362
固定負債合計	291,651	281,956
負債合計	812,686	818,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	179,605	179,605
資本剰余金	321,531	275,336
利益剰余金	3,493,132	3,533,122
株主資本合計	3,994,269	3,988,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214,711	139,134
為替換算調整勘定	117,457	97,710
その他の包括利益累計額合計	332,168	236,844
非支配株主持分	9,552	13,320
純資産合計	4,335,990	4,238,229
負債純資産合計	5,148,677	5,057,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,082,669	1,212,189
売上原価	657,515	743,806
売上総利益	425,153	468,383
販売費及び一般管理費	371,922	389,404
営業利益	53,231	78,979
営業外収益		
受取利息	326	1,446
受取配当金	7,090	6,845
為替差益	808	—
その他	927	1,594
営業外収益合計	9,152	9,886
営業外費用		
支払利息	123	288
支払手数料	175	464
為替差損	—	3,985
株式交付費	6,156	—
株式公開費用	11,909	—
その他	17	54
営業外費用合計	18,381	4,793
経常利益	44,002	84,072
特別利益		
投資有価証券売却益	—	48,596
保険解約返戻金	23,505	1,288
特別利益合計	23,505	49,885
特別損失		
投資有価証券売却損	—	535
固定資産除却損	0	37
減損損失	—	14,587
損害賠償金	—	23,800
特別損失合計	0	38,960
税金等調整前四半期純利益	67,507	94,996
法人税等	34,029	34,752
四半期純利益	33,477	60,244
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,015	3,321
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,493	56,922

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	33,477	60,244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,786	△75,577
為替換算調整勘定	△2,958	△19,300
その他の包括利益合計	36,827	△94,877
四半期包括利益	70,305	△34,633
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,348	△38,402
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,043	3,768

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	67,507	94,996
減損損失	—	14,587
減価償却費	44,536	60,443
のれん償却額	663	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△508	△73
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,057	△6,510
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,515	2,039
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,021	5,810
受取利息及び受取配当金	△7,416	△8,292
支払利息	123	288
為替差損益 (△は益)	△1,877	3,328
損害賠償損失	—	23,800
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△48,061
有形固定資産除却損	0	37
保険解約返戻金	△23,505	△1,288
売上債権の増減額 (△は増加)	64,402	26,088
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△22,848	23,889
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,072	59,134
その他	2,118	△3,845
小計	107,602	246,374
利息及び配当金の受取額	6,804	7,344
利息の支払額	△123	△563
法人税等の支払額	△48,250	△57,584
保険金の受取額	23,505	9,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,537	205,067
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△45,549	—
定期預金の払戻による収入	—	93,950
有形固定資産の取得による支出	△17,588	△81,028
無形固定資産の取得による支出	△63	—
投資有価証券の取得による支出	△299,812	△299,880
投資有価証券の売却による収入	—	112,018
投資有価証券の払戻しによる収入	—	5,334
貸付けによる支出	△207	△1,925
貸付金の回収による収入	648	843
預り保証金の受入による収入	—	800
差入保証金の回収による収入	123	573
差入保証金の差入による支出	—	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△362,448	△169,349
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	11,595	△11,491
配当金の支払額	△18,538	△39,509
長期借入金の返済による支出	—	△3,691
株式の発行による収入	253,053	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	246,111	△54,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,798	△4,041
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,001	△23,016
現金及び現金同等物の期首残高	585,382	458,400
現金及び現金同等物の四半期末残高	569,381	435,383

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」等を適用しております。この結果、資本剰余金が46,194千円減少し、利益剰余金が22,589千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

当社グループは、総合接着・樹脂加工事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

当社グループは、総合接着・樹脂加工事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。